【真岡市】 第二回WS実施報告

実施概要

第2回 公開セミナー

■名称 私たちが主役の複合交流拠点

~新しい公共へ ソーシャルキャピタルを考える~

■開催日程 2023年10月7日(土)

■開催時間 13:30~16:30

■開催場所 真岡市立図書館(真岡市田町1344)

■実施内容 1. はじめに(真岡市担当より)

2. セミナー

3. ワークショップ・意見交換

4. 振り返り

5. 次回アナウンス、記念撮影、交流タイム

■**主催** 真岡市総合政策部プロジェクト推進課複合交流拠点整備係

■協力 シダックス大新東ヒューマンサービス(株)

(株)ローカルファースト研究所

アカデミック・リソース・ガイド(株)

合同会社日本CSV総合研究所

開催報告

1.はじめに

担当 : 真岡市 プロジェクト推進課 林大輔

【内容】

- ①本公開セミナーの目的
- ②スケジュールの説明
- ③講師紹介
- 4施設概要説明
- 5配布資料説明
- 6撮影許可
- ⑦その他(「まちつく」紹介等)



<説明スライド一部抜粋>

複合交流拠点

| 遊ぶ・学ぶ・にぎわう |

複合交流拠点のテーマ

- 子育て支援の充実
- ○生涯学習の推進
- 中心市街地の活性化



完成イメージパース



2023年10月現在の様子 (市役所駐車場より撮影)



「まちつく」紹介

開催報告

2.セミナー

講師:地方創生アドバイザー 関幸子

【内容】

①前回のセミナー内容の振り返り

- ・コミュニティの顕在化
- ・地方分権の推進
- ・ソーシャルキャピタルの浸透へ

⇒ なぜ、今ソーシャルキャピタルなのか



②PPP (Public Private Partnership) の視点から見たソーシャルキャピタル

- ・リスクとリターンの設計
- ・契約によるガバナンス
- ・PPPのトライアングルとソーシャルキャピタルの立ち位置

⇒ 公共サービスの多元化によりだれもが毎日まちづくりに参加できる

③ソーシャルキャピタル実装の事例

・東京都三鷹市の実例

④ 真岡市複合拠点施設でのソーシャルキャピタルの可能性

- ・第一回WSアンケート結果の報告
- ・ソーシャルキャピタルを進める流れ
- ・複合交流拠点を市民組織で運営する移行イメージ



開催報告

3.ワークショップ

【方法】

- ・参加者は4つのテーマから興味のあるグループに参加。 各ファシリテーターの元、ワークショップを実施。
- ・まずはグループ内全ての参加者が各30秒間で自己紹介。(自己紹介カード使用) その後、ファシリテーターを中心に意見交換。
- ・1回45分。グループを変えて計2コマ(計90分)開催。

【Aグループ】

テーマ: ソーシャルキャピタル

ファシリテーター:関



真岡市民以外の方、高校生や大学 生など若い世代の参加も多かった。 本気で市民組織に加わりたいと おっしゃっていただいた方もいて、 「公式化」を作っていくための工 夫、信頼を得るための環境づくり、 市民組織に参加する際の不安など 具体的な質問が多く、市民力の高 さが伺えた。 【Bグループ】 テーマ:図書館

ファシリテーター: 岡本



公共交通機関による複合施設へのアクセスについて話題になった。 小さな子供連れや、老人など、施設に来れない方をどうするか、一見図書館とは関係のないことのようにも思えるが、非常に大切な観点。まずは調べて学んで、より良い施設づくりに繋げていこうという話になった。 【Cグループ】 テーマ:子育て

ファシリテーター: 羽崎



子育て世代、さまざまな子育てサポートをされている方の参加が多く、新施設でのアイデアや悩み相談など多種多様な話ができた。その中で、皆さんの経験が必ず役に立つことを羽崎先生よりアドバイスいただき、「拠点」としての施設を成功に導くためのエネルギッシュな内容となった。

<自己紹介カード>



【Dグループ】

テーマ:施設運営

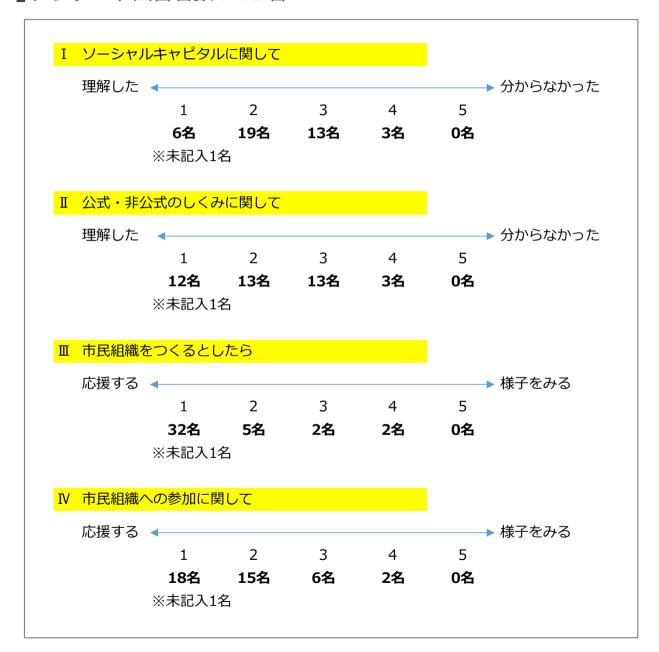
ファシリテーター:渡辺、佐々木、嶋津



新施設へのアイデアや、様々な使い道へのご要望をいただいた。これまで事業者側では考えつかなかったものも多く、非常に参考となった。

また、市民組織の運用開始時期や 二宮エリアへの配慮へのご意見も あり、今後継続して考えていく必 要がある。

アンケート集計結果 アンケート回答者数:42名



- ◆全体的に理解度や意欲の高さが伺える。
- ●ソーシャルキャピタルについては、今回が初め ての参加者には少し難しかった印象で、継続し て理解を深められるよう計画していく。
- ●市民組織については非常に好意的。 非常に応援する(回答:1)が、アンケート回答 者の78.0%
- ●市民組織への参加に関しても、積極的な市民が 非常に多かった。
 - 非常に応援する(回答:1)が、アンケート回答 者の43.9%、応援する(回答:2)まで含めると 80.4%におよぶ。
- ●自由記入欄をの記載(P6、P7参照)から、それぞ れが「できること」をしっかりと意識している ことが伺える。
- ●選仟で担当したいとの申し出も複数名あった。

▮アンケート集計結果

市民組織への期待や要望(抜粋)

- ●途中からでも参加しやすい環境づくりが大切。
- ●やりたい、やれる人は協力してドンドン恐れずに前へ!!
- ●ひきこもりの子から大人までの居場所を作りたい。
- ●関心のある市民で組織を作り、自分たちで表現していきたい。
- ●できる人、やりたい人に任せる大切さを知った。その仕組みを作りたい。
- このWSに来られないけれど興味がある人の意見を吸い上げる方法を模索したい。
- ■二宮のセンターまで来られない人が市民活動推進のために使える施設や窓口を整備して欲しい。
- ●市民組織でないとできないことがあると思う。地域に残るシステムづくりに参加したい。
- ●今回参加していただいた皆さんがそれぞれ意見を持ち自主的に前向きな活動に繋がれば良いと思います。
- ●子育て支援のグループが点在しているので、交流拠点を通して線になっていけたら良いと思いました。
- ●高齢者を代表して考えたい!地域にネットワークは多少ある。(若い人との交流がない)
- ●応援したい人は沢山いると思うので、広報と人を介しての引き込みが必要だと思います。
- ●市内に沢山あるボランティアの枠を超えて、複合施設を中心に横の繋がりのある組織ができると良いと思います。
- ●多世代の市民組織になると良い。
- ●老若男女フラットに対話できる組織。市民の主体性を行政が引き出し、認める関係。
- ●自分たちの理想をカタチにするって大変だけどステキだと思う。
- ●是非専任として真岡に力をつくしたい。

次回開催予定

第3回 公開セミナー

■**名称** 私たちが主役の複合交流拠点

~図書館経営のかたちを探る-真岡型協働の可能性と課題~

■開催日程 2023年12月2日(土)

■開催時間 13:30~16:30

■定員 100名

■開催場所 真岡市立図書館 2階学習室

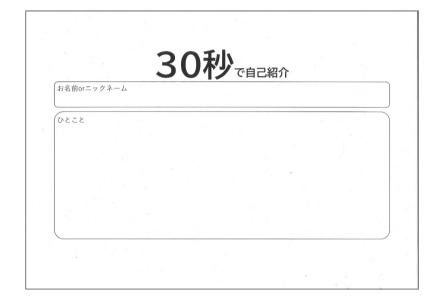
(真岡市田町1344)



参考資料

配布資料一覧

<自己紹介カード(A4)>



<市民記入表 (アンケート) (A4) >



【その他設置資料】 第一回WS資料

- ・ファシリテーター紹介
- ・施設説明資料など





<次回WS案内(A4)>

